

# 取扱説明書

この製品は海外ではご使用になれません

PRAABK ラジオ・スピーカー付レコードプレーヤー

この度はラジオ・スピーカー付レコードプレーヤーをご購入頂き、誠に有難う御座います。ご使用前に必ず取扱説明書をよくお読みいただき正しくご使用ください。また、お読みになった後は大切に保管してください。本機の使用によるレコードの破損やデータの消失、その他直接的・間接的損害に関しては当社は一切の責任を負いかねます。

## 安全上のご注意

安全のため必ずお守りください

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使い頂き、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐものです。また危害や損害の大きさと切迫の程度を「警告」、「注意」の2つに区分されています。

いづれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

- 警告** この表示を無視して誤った取り扱いをすると、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
- 注意** この表示を無視して誤った取り扱いをすると、傷害を負う可能性が想定される内容を示しています。

### 絵記号の意味

- この記号は禁止の行為を告げるものです。記号の中や近くに具体的内容が書かれています。
- 例) 「分解禁止」を表す絵表示
- この記号は必ず行っていただきたい行為を告げるものです。記号の中や近くに具体的内容が書かれています。
- 例) 「電源プラグを抜く」を表す絵表示

## 警告

- 表示された電源電圧(100V)以外の電圧で使用しないでください。火災や感電の原因となります。
- 子供だけで使用したり、乳幼児の手の届くところで使用しないでください。けがや感電の原因となります。
- 煙や異臭、異音が出たら、電源プラグをコンセントから抜き弊社サポートへお問い合わせください。火災や感電の原因となります。
- 浴室・シャワー室など湿気の多い場所で使用しないでください。火災や感電の原因となります。
- 強い衝撃を与えたり、機器やケースが壊れた状態で使用しないでください。火災や感電の原因となります。
- 分解・改造はしないでください。点検や修理は弊社サポートへご依頼ください。けがや感電の原因となります。
- 針先に指で触れたり、衝撃を与えないでください。けがの原因となります。
- 直射日光のあたる場所などに放置しないでください。火災や感電の原因となります。

## 注意

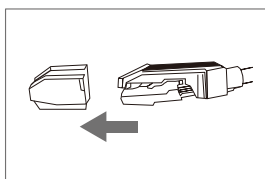
- お手入れの際には安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。感電の原因となります。
- 電源プラグを抜く時は、電源コードを引っ張らず、必ずプラグを持ってください。火災・感電の原因となります。
- 旅行などで長期間お使いにならないときは、安全のため必ず電源コードをコンセントから抜いておいてください。火災・感電の原因となります。
- ご使用になる時は、音量を上げすぎないようにご注意ください。聴力に悪い影響を与えることがあります。
- ぐらついた台の上や傾いた場所など不安定な場所に置かないでください。けがの原因となります。
- ご使用後はレコード盤を外してください。レコード盤に傷が付くおそれがあります。

## 注意

- 演奏中のターンテーブルやレコード盤には触れないでください。故障やけがをする原因となることがあります。
- テレビや他のオーディオ機器を、本機の近くに配置しないでください。ノイズやハム音が出る場合があります。

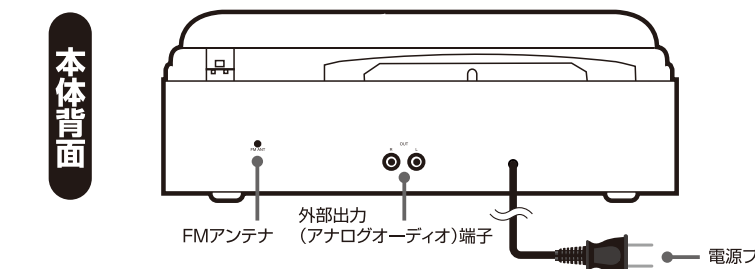
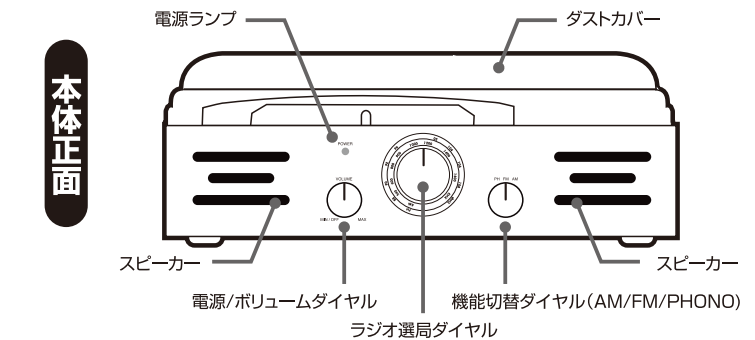
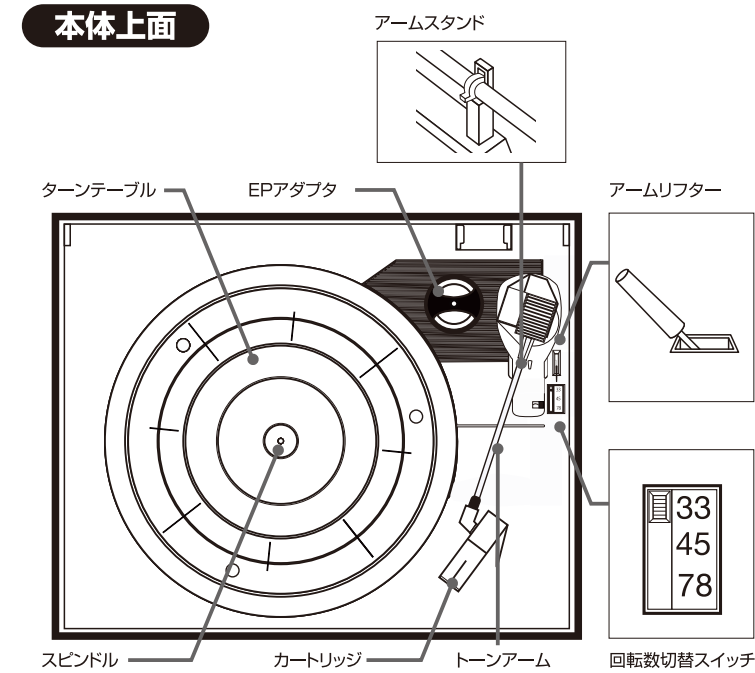
## ご使用前に

本機はレコード針1本装着済です。ご購入時には白い保護キャップが付いておりますので、保護キャップを手前に引いて外してからご使用ください。また、長時間使用しない場合はレコード針保護のため、保護キャップを取り付けてください。



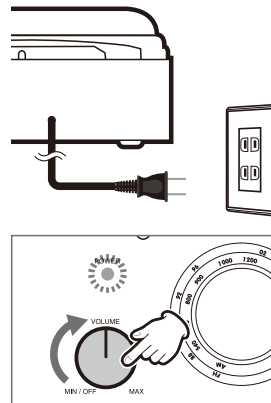
アーム先端の赤い部分にはレコード針が付いております。無理な力が加わりますと、針が変形し正しい再生が出来ない等の要因となりますので、丁寧なお取り扱いをお願い致します。

## 各部の説明



## 電源を入れる

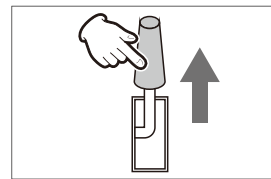
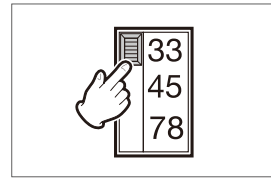
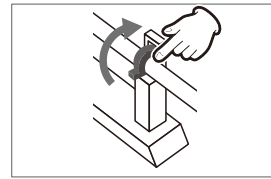
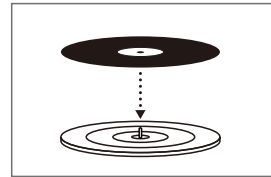
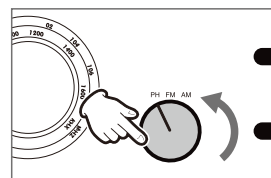
- 本体背面にある電源プラグを、ご家庭のコンセントに接続してください。
- 電源/ボリュームダイヤルを回し、電源を入れます。電源が入ると電源ランプが赤く点灯します。



※電源プラグはコンセントにしっかりと差し込んでください。  
※旅行などで長期間お使いにならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いておいてください。

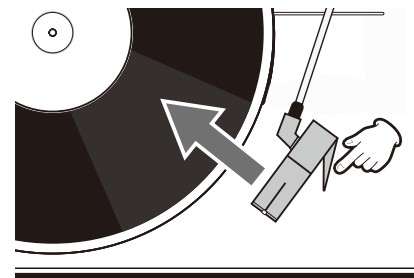
## レコードを聴く

- 電源を入れた状態で、前面の機能切替ダイヤルをPHに合わせます。
- ターンテーブルにレコードをのせます。  
EP盤(45回転盤)を聴くときは、スピンドルにEPアダプタをのせてからレコードをセットしてください。
- アームスタンドのロックを手動で外します
- レコードの種類に応じて、回転数切替スイッチをスライドさせ、スピードを合わせます。  
多くの場合、LP盤は33回転、EP盤は45回転、SP盤は78回転です。
- アームリフターを奥側へ起こすと、アームスタンドからトーンアームが浮き上がります。



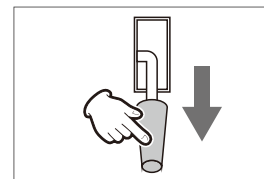
アームスタンドにロックをかけたままアームリフターを起こさないでください。無理に起こすと破損の恐れがございます。

- トーンアームの指かけをつまんで、レコード盤の演奏したい位置へゆっくりと移動させます。トーンアームがレコード盤に近づくと、自動的にターンテーブルが回転します。

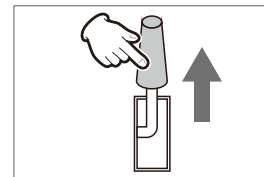


- アームリフターを手前側に下げると、トーンアームが下がって演奏が開始されます。

レコード再生中はダスタカバーを閉じ、レコードにホコリ等が付着しないようにしてください。

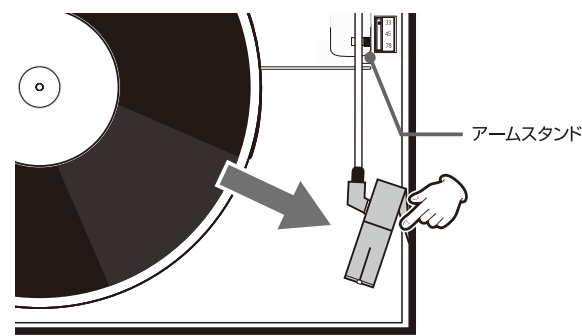


- レコードの演奏途中でストップしたい場合や演奏が終了した場合はアームリフターを起こしてトーンアームを浮き上げます。

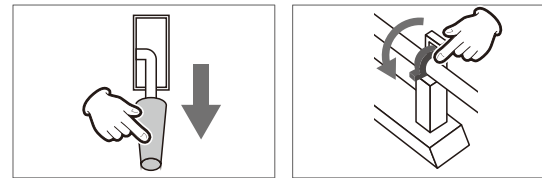


- 浮き上がったトーンアームの指かけをつまみ、静かにアームスタンド上に戻します。

トーンアームをレコードから遠ざけると回転が自動的に止まります。



- アームリフターを手前に下げ、トーンアームをアームスタンドへ戻し、手動でロックを行ってください。



トーンアームの上げ下げは、必ずアームリフターを使って行って下さい。手動で無理に行くと、レコードを傷つれたり、針損傷の恐れがありますのでご注意ください。

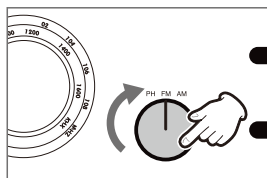
# ラジオを聴く

本機はAMアンテナ(内蔵型)とFMアンテナ(ワイヤーアンテナ)を装備しております。

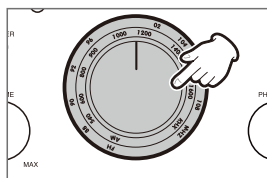
FM…本機背面のFMアンテナを、受信状態の良い窓際などへ伸ばし、テープ等で固定してください。

AM…本体を最も受信状態の良い方向へ向けてください。

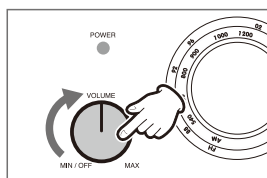
**1** 電源を入れた状態で、前面の機能切替ダイヤルをAMまたはFMに合わせます。



**2** ラジオ選局ダイヤルを回し、聴きたい局の周波数に合わせます。



**3** 電源/ボリュームダイヤルを回し、お好みの音量に調節します

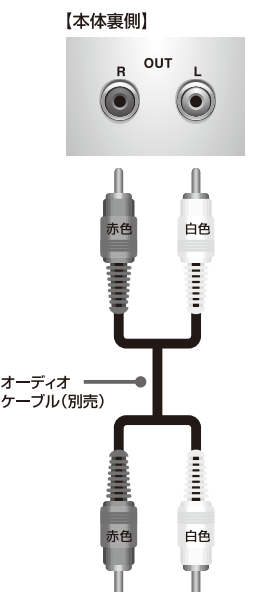


⚠ テレビやパソコン、電子レンジの近くでは、電磁波の影響を受けノイズが入る場合がございます。

# 外部出力をする

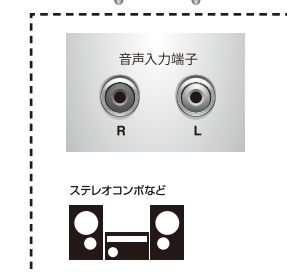
オーディオケーブル(別売)を使って、お手持ちの外部入力端子付きのスピーカーシステムやステレオコンポなどと接続できます。

**1** 本体裏側にある外部出力(アナログオーディオ)端子に、お手持ちのオーディオケーブルを接続します。



プラグの色(赤/白)と本体の外部出力(アナログオーディオ)端子の色を合わせて接続してください。

**2** オーディオケーブルと、お手持ちの外部入力端子付きのスピーカーシステムやステレオコンポを接続します。



⚠ テレビやパソコン、電子レンジの近くでは、電磁波の影響を受けノイズが入る場合がございます。

※本機にオーディオケーブルは付属していません。  
※外部出力は、本機のボリュームには影響されず、音量を変更しても一定です。また、音声は、外部スピーカーと接続機器の両方から出力されます。

# お手入れの仕方

## キャビネットのお手入れ方法

・電源プラグを抜き、柔らかい布で汚れを軽く拭き取ってください。汚れがひどい場合は、水に浸した布を固く絞って拭き取ってください。

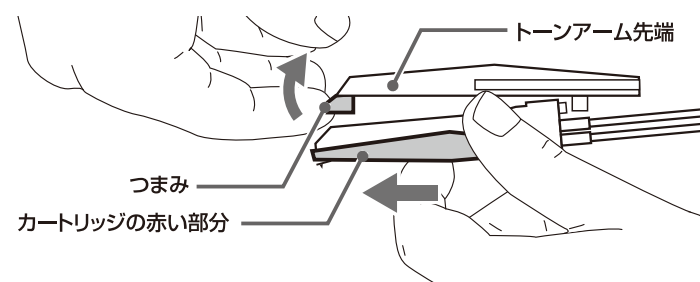
・研磨剤や強力な洗剤・ベンジン・アルコール・シンナーは、本体を傷つける場合がございますので使用しないでください。

## レコード針の交換方法

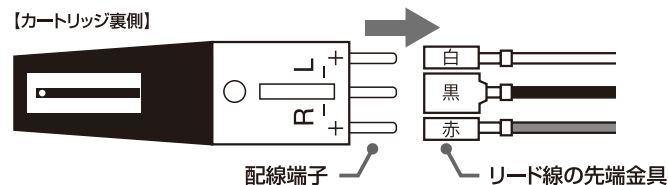
⚠ ※本機に交換用の針は付属しておりません。交換用針に関しては、弊社問い合わせ窓口にお問い合わせください。  
※針交換を行う前に、必ず電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

**1** トーンアーム先端のつまみを上方向に押し上げながら、カートリッジの赤い部分を持って軽く手前に引き下げます。

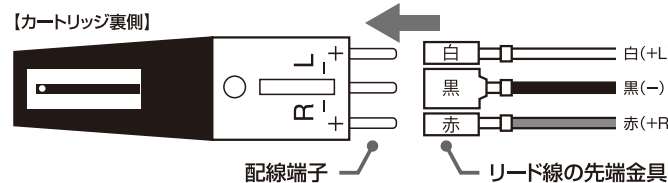
⚠ リード線を切らないようにご注意ください。



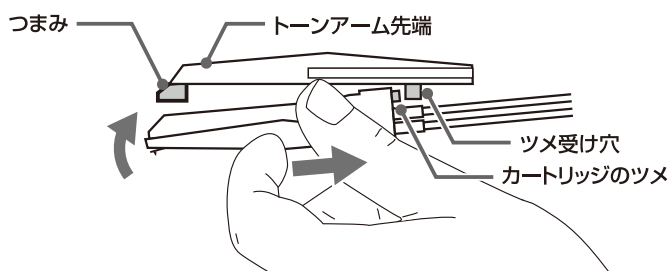
**2** 赤・黒・白3本のリード線の先端金具をカートリッジの配線端子から静かに抜き取ります。



**3** 新しいカートリッジの配線端子に、リード線の色に注意しながら先端金具を差し込みます。



**4** カートリッジのツメをトーンアーム先端のツメ受け穴に合わせ、差し入れながらつまみの方向へ押し上げて取り付けます。



**5** パチンと音がして固定されます。

# 故障かな?と思った時は

製品に不具合が見られた際は、以下の点をご確認ください。その他ご不明な点がある時は、修理受付窓口までお問い合わせください。

電源が入らない	電源コードは正しくコンセントに差し込まれていますか?
音が出ない	・機能切替ダイヤルの位置は正しいですか? ・電源は入っていますか? ・音量が最小になっていませんか? ・レコード針保護キャップを外してありますか?(レコード再生時)
FMラジオの雑音が多い	・FMアンテナは伸びていますか? 受信状態の良い窓際などへアンテナを伸ばし、テープ等で固定してください。 ・テレビやパソコン、電子レンジの近くに置いていませんか? 電磁波の影響を受けノイズが入る場合がございます。
AMラジオの雑音が多い	・テレビやパソコン、電子レンジの近くに置いていませんか? 電磁波の影響を受けノイズが入る場合がございます。
レコードの音がおかしい	・回転数切替スイッチの設定は合っていますか? 多くの場合、LP盤は33回転、EP盤は45回転、SP盤は78回転です。
雑音が入る	・レコード針が摩耗していませんか? 針がすり減ると音質が悪くなります。新しい針に交換をしてください。 ・針先にホコリがたまっていますか?
ハウリングが起こる	・本機の音量や設置場所によってハウリングが発生する場合があります。置き場所を変更したり、音量を調節してみてください。
音飛びを起こす	・床の振動などが本機に伝わっていませんか? ・レコード盤に傷やそりはありませんか? ・本機を水平な場所に置いていませんか? 傾いていると針が飛びやすく音とびの原因になります。
ターンテーブルが回らない	・機能切替ダイヤルの位置は正しいですか? レコードを聴く際はダイヤルを「PH」に合わせてください。

# 製品仕様

電源/消費電力	AC100V 50/60HZ
回転数	33 1/3回転・45回転・78回転
駆動方式	ベルトドライブ方式
ワウフラッター	0.3%以下
スピーカー	1W×2
FM受信周波数	76~108MHz
AM受信周波数	522~1710KHz
サイズ	約323×275×120mm
重量	約2.3kg
付属品	取扱説明書/保証書・EP盤アダプター レコード針(装着済)

※外観および仕様は改良のため予告なく変更することがあります。  
※本製品は日本国内でご利用いただくために設計・製造されたものです。

## STAYER お問い合わせ/修理受付窓口

☎ 03-5315-4565 (平日 10:00~12:00 / 13:00~17:00)

HP <http://www.stayer.co.jp> Eメール [support@stayer.co.jp](mailto:support@stayer.co.jp)

〒160-0004 東京都新宿区四谷三丁目2番地2 TRビル6F